

Soba Choko Art

手のひらサイズのアート

第5回

そば猪口 アート 公募展

[大賞] 阿波 夏紀《prism, blink》

山形若手アーティスト展 vol.8

同時開催

山形藝術界限展 〇二

白鷹町文化交流センターでは、山形在住または出身の若手アーティストの展覧会を開催しております。第8回目の今回は、絵画・音楽・パフォーマンス等それぞれの表現活動で既存の枠組みに捕われない新たな作品制作・発表のあり方を模索するアーティスト、大槌秀樹、後藤拓朗、白丸たくと、久松知子による展覧会です。

2017年 3月1日(水) ▶ 3月20日(月祝)

会場 = 白鷹町文化交流センター あゆーむ

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地

開館時間 = 9:00 ~ 17:00

休館日 = 月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

観覧料 = 一般個人 200円、高校生以下無料

お問合せ = 白鷹町文化交流センター

☎ 0238-85-9071

主催 = 白鷹町文化交流センター

そば猪口アート展実行委員会

安曇野高橋節郎記念美術館

協力 = 瀬戸市新世紀工芸館

公益財団法人瀬戸市文化振興財団

第5回

そば猪口 アート 公募展

本公募展は、長野県安曇野市の「高橋節郎記念美術館」と「そば猪口アート展実行委員会（安曇野市、東京藝術大学、安曇野高橋節郎記念館友の会、現代工芸美術家協会長野会、安曇野スタイルネットワーク）」が主催して、世界から応募を募る公募展です。昨年に引き続き、巡回展の第3回目として、白鷹町文化交流センターで開催するものです。

今年は、31都道府県と海外から、287点の応募作品が寄せられました。応募者の年齢も10代から80代までと幅広く、出品作のレベルも年々上がっています。

その中から造形性、表現力、感性、使いやすさなど様々な視点から厳選された134点が入選、内14点が受賞となりました。

約半数を3月10日(金)まで。3月11日(土)から残りの半数を入れ替え展示いたします。個性あふれる「そば猪口アート」をどうぞお楽しみください。



【大賞】阿波 夏紀《prism,blink》



【準大賞】古川 千夏《colour》



【優秀賞】菅谷 美子《万華鏡》



【優秀賞】丸井 菊二《まり》



【特別賞(瀬戸市)】田中 若葉《夢うつつ》



【特別賞(白鷹町)】根本 達志《蛭文猪口》



【第5回記念賞】岡澤 治季《銀製そば猪口和吹味》



【第5回記念賞】竹内 真吾《炆器猪口》



【第5回記念賞】本間 友幸《蕎麦貫入釉そば猪口「蕎麦の泉」》



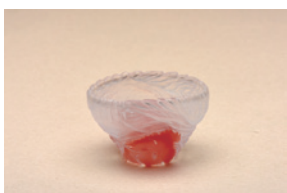
【審査員賞】小口 富雄《四方隅切り・八角清流》



【審査員賞】小口 稔《天の川》



【審査員賞】上島 かな子《melt》



【審査員賞】塚本 沙耶《とけるような》



【審査員賞】水尻 幸太《蒔絵八角そば猪口「忍草」》

同時開催

山形若手アーティスト展 vol.8

山形藝術界限展 〇二

主催 白鷹町文化交流センター

藝術界限とは、2016年9月に山形市中心市街地の御殿堰芝生広場において開催されたアートの市「芸術界限」から派生した芸術運動体です。絵画・音楽・パフォーマンス等それぞれの表現活動を行っているメンバーが集まり、山形という地方都市における独自のアートシーン成立の可能性を問う実験的な試みを計画しています。2月に山形市で行われる彼らの展覧会「山形藝術界限展」シリーズの第2回目を、白鷹町文化交流センターの「山形若手アーティスト展」シリーズとして開催するものです。



白鷹町文化交流センターAYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

■お車でお越しの場合/山形市より国道348号線で約35分

■電車でお越しの場合/赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線〔荒砥行き〕で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

お問合せ=TEL.0238-85-9071